



# 伊賀市議会だより

No. 15  
平成20年11月1日



10月4日青山ハーモニー・フォレストにてパークゴルフ場がオープンされました



## 目次

|             |             |
|-------------|-------------|
| 19年度決算報告    | ・・・ P 2     |
| 一般質問        | ・・・ P 3～P 6 |
| 常任委員会付託案件審査 | ・・・ P 7     |
| 9月定例会の審議結果  | ・・・ P 8～P 9 |
| 議会のうごき等     | ・・・ P10     |

**ひとが輝く 地域が輝く**  
～住みよさが実感できる自立と共生のまち～

# むずかしい舵取り伊賀市の財政 19年度の決算審査を報告します



決算審査は、予算が議会の議決や法令の規定に従って公正・適正、効果的に使われたかどうか、市民の福祉増進に役立ったかどうかを審査するものです。審査の結果をこれからの予算に活かすため、毎年9月定例会会期中に、決算特別委員会を設置し、詳細な審査を行っています。

9月議会では2日間にわたって、平成19年度決算について集中審議しました。

三位一体改革の影響で財源が不足する中での予算編成でしたが、実質収支は黒字。議会として決算を認定しました。

委員会での審議内容を一部紹介します。

## 一般会計 歳入

質 市の実質赤字比率、実質公債比率等の判断はどのようにしているのですか。

答 市の財政は健全であると考えていません。特別会計を含めれば余裕はありますが、厳しいことには間違いありません。ここ数年は十分注意してまいりたいと思います。

質 たばこ税のしくみはどうなっているのですか。

答 たばこを卸した地域に、卸した分がかかってきます。

## 一般会計 歳出

質 19年度の伊賀鉄道の成果は。

答 19年10月に新会社が開業して、半期の決算でいくと、約3億円の損失となっています。概ね予定どおりです。

質 伊賀線の会社を設立するにあたって、倒産したときに何か補償をする可能性があるのですか。

答 存続に向けた支援で、年度別で債務負担行為を設定しています。運営支援と設備支援などです。また株主としては責任があります。

質 伊賀線の支援について、文書であるのか。法律に基づく契約なのですか。

答 確認書です。債務負担行為は議決事項であり議会の承認をとっているものということになります。

質 夏祭り助成金について、各地域の振興であると思いますが、金額の差は何ですか。また、商工費でも出てきますが、科目の違いは何ですか。

答 現状は、合併前の状況を引き継いでいます。対応は考えたいと思っています。

質 継続することは良いのですが、補助金の一律カットの原則の中で不公平感が出るのではないですか。一体化という観点から納得できないと思います。基準についてはっきり示すべきではないですか。

答 それも含めて調整中ですが、結論は出ていません。

質 3年前にも言いましたが、いつまで考えるのですか。あまりにも差があります。

答 金額を揃えることは考えていません。それぞれの地域の意向を尊重しながら経費の節減に努めたいと思っています。

## 平成19年度伊賀市会計別決算

平成19年度の総決算（一般会計と特別会計）では実質収支（歳入一歳出一翌年度へ繰り越すべき財源）で9億2,442万3,096円の黒字。一般会計の実質収支は5億5,451万618円の黒字でした。

一般会計の主な支出は、地区市民センター整備事業、救急医療対策事業、小学校の校舎整備、校区再編による中学校建設、地方道路交付金事業などの道路関係事業等です。

収入については、一般会計歳入決算額のうち市税の決算額は153億6,134万9千円で、前年度に比べ15億3,306万4千円、11.1%の増となりました。

## 平成19年度決算状況

(千円未満切り捨て)

|      | 会計名          | 収入額           | 支出額           |
|------|--------------|---------------|---------------|
|      | 一般会計         | 423億6,667万8千円 | 415億9,000万3千円 |
| 特別会計 | 国民健康保険事業     | 94億8,731万4千円  | 93億8,831万8千円  |
|      | 事業勘定         | 93億1,009万6千円  | 92億1,351万8千円  |
|      | 直営診療施設勘定診療所費 | 1億7,721万8千円   | 1億7,480万円     |
|      | 簡易水道事業       | 10億3,065万7千円  | 9億6,705万6千円   |
|      | 住宅新築資金等貸付    | 9,091万6千円     | 1億8,604万9千円   |
|      | 駐車場事業        | 6,083万6千円     | 6,073万6千円     |
|      | 老人保健         | 90億1,306万6千円  | 90億9,728万1千円  |
|      | 介護保険事業       | 70億3,814万2千円  | 67億6,413万3千円  |
|      | 農業集落排水事業     | 13億7,449万5千円  | 13億3,789万1千円  |
|      | 公共下水道事業      | 25億3,017万2千円  | 24億6,569万7千円  |
|      | 浄化槽事業        | 4,728万8千円     | 4,570万7千円     |
|      | サービスエリア      | 2,207万6千円     | 708万7千円       |
|      | 市街地再開発事業     | 3億7,178万3千円   | 2億4,077万円     |
| 企業会計 | 島ヶ原財産区       | 3,156万4千円     | 2,710万1千円     |
|      | 大山田財産区       | 928万7千円       | 727万円         |
| 企業会計 | 病院事業 (収益的)   | 29億8,115万1千円  | 32億9,899万2千円  |
|      | (資本的)        | 3億1,797万2千円   | 4億1,596万3千円   |
|      | 水道事業 (収益的)   | 20億3,495万2千円  | 19億8,864万9千円  |
|      | (資本的)        | 14億3,258万5千円  | 19億9,462万8千円  |

## 【決算特別委員会】

会派より選出された15名

- 委員長 森 正敏
- 副委員長 中本徳子
- 委員 田山宏弥 本城善昭
- 渡久山カナエ 前田孝也
- 松村頼清 今井博昭
- 奥 邦雄 宮崎由隆
- 森岡昭二 森永勝二
- 山岡耕道 森野廣榮
- 葛原香積



↑ 集中審議をする決算特別委員会

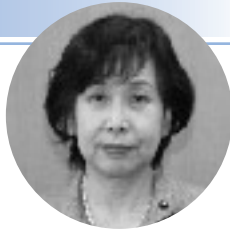
# 市政のここが聞きたい!

第9回伊賀市議会定例会では、18人の議員が市の諸問題について質問をしました。質問した項目と質問の一部を紹介します。

## 質問を行った議員

田山宏弥・安本美栄子・森野廣榮・奥 邦雄・山岡耕道・葛原香積・森本 聡・木津直樹・土井裕子  
宮崎由隆・森永勝二・馬場登代光・本村幸四郎・松村頼清・中本徳子・勝矢節義・前田孝也・英 成樹

### 森野 廣榮 議員



- ・消費者行政について
- ・多文化共生社会をめざして
- ・レジ袋有料化に伴う今後の取り組みについて

#### 質問

#### 市民の安心安全を守る消費者施策を

振込め、還付金詐欺等の悪徳商法や食品偽装表示・汚染米・産地偽装事件など消費者の安心、安全が脅かされています。伊賀市での相談件数、安心安全の確保や被害への迅速な対応、救済のための消費生活条例の制定と、消費者生活施策の方向、推進を示す消費生活推進計画の策定と専門相談窓口となる消費者センターの設置について尋ねます。

#### 答 弁

#### 条例、計画の検討

平成19年度、本庁・支所で受け付けた相談件数は326件です。消費生活条例は近い将来策定したいと思えます。また、条例に基づいた推進計画の策定は必要であり検討していきます。消費者センターにつきましては、10万都市では財政的なこともあり、県で取組んでいます。

### 田山 宏弥 議員



- ・中心市街地活性化
- ・平成20年度全国学力・学習状況調査の結果を受けて
- ・市民スポーツフェスティバルについて

#### 質問

#### 中心市街地活性化基本計画、認定後の取組みは

中心市街地活性化基本計画認定後、47の事業の実施体制を、今後どう進めていくのか尋ねます。

#### 答 弁

#### プロジェクトを立ち上げていきます

認定後の取組みは、47事業の実施にむけ、各事業のプロジェクト会議を立ち上げていく予定です。

また、事業推進のため、タウンマネージャーの設置も検討しています。今後も活性化協議会・まちづくり会社伊賀上野・行政が連携して進めていきます。



### 山岡 耕道 議員



- ・道路行政
- ・農林行政

#### 質問

#### 名阪国道の道路改良と名神名阪連絡道路の進捗は

名阪国道のグレードアップ事業の取組みと、インターチェンジ改良の進捗状況及び新名神開通に伴う連絡道路の事業着手に向けての現状は。

#### 答 弁

#### 安心して走行できる道路改良を

道路機能のアップと交通安全対策・環境対策の三点を中心に道路のスムーズな通行のためインターチェンジの改良、安全安心な走行のための路肩の拡幅、登坂車線整備等鋭意実施しています。

インターチェンジ（下柘植）改良への取組みは、三重県と北勢国道工事事務所が調査を完了し、着手に向けて協議中です。

名神名阪連絡道路は整備区間に向け、関係機関に強度に要望してまいります。



### 奥 邦雄 議員



- ・地域活性化計画について
- ・土木行政について
- ・農業政策について
- ・伊賀市立上野総合市民病院の運営について

#### 質問

#### 地域活性化計画での定住環境と町づくりは

新市が誕生して4年近くになり、地域活性化計画を始め40余りの計画が整いつつあります。周辺地域の農林業を始め商業、建設業、職人（大工・左官）等が厳しい状況で、若い人たちが年々減少、高齢化と共に過疎化が進みつつあります。地域活性化計画での地域の特徴を生かした定住環境づくりと町づくりについて伺います。

#### 答 弁

#### 住民自治協議会と協働しながら推進していきたい

地域の特性と資源を生かした、健康で互いに助け合う仕組みで、農業、地域の担い手を住民自治協議会と協働しながら、行政として一生懸命定住環境の推進を図っていききたいと思います。



木津 直樹 議員



- ・初代市長としての自己評価は
- ・環境問題について
- ・A E Dの普及と活用について
- ・伊賀市における産業政策の方向性について

質問

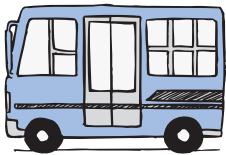
環境問題に関して行政バスの運行時刻見直しを

行政バスの運行時刻等を見直すことにより、公共交通を利用した通勤ができ、CO2削減の施策にもなると思いますが。

答 弁

中長期的課題として調査研究を行っています

市内の行政バスは、旧上野、大山田、島ヶ原が業者委託、伊賀、阿山は直営、青山は廃止代替バスで、それぞれの運行形態を継続した形で運行しており、運行本数や始発、最終便も地域により相違があります。一部のバス路線を除き、通勤利用ができないのが現状です。本庁での一括管理も含め調査・研究は行っていますが、通勤に対応して行政バスを運行するとなると莫大な



経費が必要となり、費用対効果や運行管理、個々の地域事情の相違など、すぐに対応することは難しく、中長期的課題だと考えています。

森本 聡 議員



- ・住民サービスと支所機能
- ・危機管理と個人情報の保護
- ・地域での慣行的事業に対する市の支援
- ・主要地方道甲南阿山伊賀線の交通安全対策について

質問

住民サービスと支所機能

「小さな本庁・大きな支所」は合併のうたい文句です。しかし、実態は逆です。定員適性化計画により支所人員の削減はやむを得ないにしても、市民に直結する窓口、特に福祉部門の定員削減は機能低下を感じます。健康福祉課を廃止し、住民課に統合した意図は何ですか。今後どのように取組むのですか。合併理念がどうなっているのですか。

答 弁

支所における福祉部門の機能充実を図ります

総務部門など本庁集約の方が効率的である部門は集約しています。市民サービスの維持向上は当然であり、特に福祉部門の充実強化については、来年度実施予定の機構改革で十分考慮致します。



市政のここが聞きたい！



宮崎 由隆 議員



- ・環境衛生事業について
- ・駅前再開発事業の進捗について
- ・選挙・期日前投票等について

質問

有害物質対策は

中心市街地活性化事業に伴い、駅前ビル建設のため、商工会議所ビルが解体されることになりました。その費用の入札結果は、予定価格が約1億円のところ4500万円で落札しました。落札価格の中に有害物質対策費用も含まれているのですか。

また、アスベストなどの有害物質対策は調査しましたか。

答 弁

アスベストの量を調査し対処します

入札価格の中に含まれています。また、アスベストの処理は国の基準で明記されています。アスベストの量など調査し、飛散を防止したいと思います。



土井 裕子 議員



- ・産学官連携のまちづくりについて
- ・公会計制度改革について
- ・情報化について

質問

産・学・官連携のまちづくりは

地域活性化のため、地域の資源を最大限に生かした地域産業の振興が不可欠です。その一つ的手段として、産・学・官連携のまちづくりがあります。大学の多くの“知”を産業に役立てることで、新しい技術が生まれ、新たな事業が創出できます。我が市における“伊賀研究拠点事業”について尋ねます。

答 弁

平成21年4月オープンにむけ・・・

この事業は三重大と企業などの共同研究、県や専門家による起業家支援、産業振興のための情報提供などを行い、伊賀地域の産業振興、文化振興を目指すものです。産・学・官の連携を実現するための拠点を開発し、地域発イノベーションを加速させるため、(財)伊賀市文化都市協会と伊賀市と三重大が一体となって、4月のオープンに向け、施設の利用形態や入居基準などの協議を進めているところです。

**馬場 登代光 議員**



- ・関西本線電化について
- ・市職員等の勤務状況について

**質問**

**市職員等の勤務状況について**

市職員の意識改革の必要を感じませんか。私は以前市職員の遅刻の多いことについて質問をしました。当時と比べ遅刻者は少なく、良くなっていると思います。一方、喫煙室、喫煙場所での人の集まりの多いこと。同じ人が何度となく集まっているのが目立ってなりません。一体、仕事に來ているのか、タバコを吸いに來ているのか。こんな状態をトップはご存知ですか。

**答 弁**

**職員の状況を確認していきます**

市職員は職務に専念の義務があります。やりがいのある職場づくりと市民の皆さまの意向に添えるよう努力をします。今後職場を廻って職員の状況を確認して行きます。



**森永 勝二 議員**



- ・雇用促進住宅の廃止について
- ・非核平和都市宣言に関して
- ・夏のにぎわいフェスタに思う
- ・学校給食費について
- ・柎川交差点の信号改善で渋滞の緩和を

**質問**

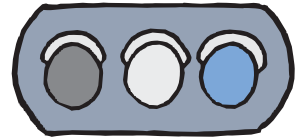
**信号の改善で渋滞の緩和を**

国道422号線柎川交差点が朝夕の出勤時に渋滞しています。理髪店の所は押しボタンがついていますが、信号は交互にかわるようになっていきます。しかし、比自岐から來る車も、上野島ヶ原線の上郡からくる車も極端に少ないように思います。東西線に車両感知器と押しボタンをつけて国道422号線は常に優先とするように改善すべきだと思いますがどうですか。

**答 弁**

**調整をした上で感知式の信号を検討**

東西線は歩行者が安全に渡れるように設定しています。南北線にまだ余裕があるので長くなるように調整をしたいと思います。その上で、感知式の信号への変更を検討したいと思います。



**市政のここが聞きたい!**

**松村 頼清 議員**



- ・小中学校の耐震診断について
- ・各種計画策定について

**質問**

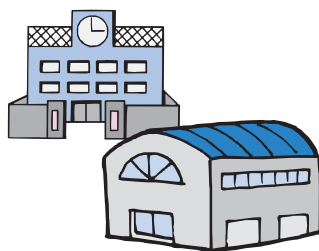
**小学校の耐震補強は**

いつ発生してもおかしくないと言われる地震に対し、子ども達の命に係わる地震対策を早急に対処しなければならないと思います。子どもたちの安全安心を守るために、市として財政的に許されるならば、耐震補強を一年でも早く単年度で進めてほしいと思いますが、市長の所見を伺います。

**答 弁**

**単年度で出来るよう検討**

屋内運動場（体育館）の耐震補強については、そんなに高くなりません。鉄骨ですから一校当たり1千万円位で、10校で1億円あまりなら単年度で出来るはずで。財政局・教育委員会ともあと残りわずかな期間ですが、この議会中に検討致します。



**本村 幸四郎 議員**



- ・安心で活力ある伊賀市づくりに  
ついて

**質問**

**アンケート調査結果について市長の感想は**

私達議員有志が、今進めている駅前ビルについての1000人中563人によるアンケート調査では、今のまま推進は13%、縮小変更が83%でした。市民の理解と支持は得られていないように思うが、このままコンセンサスが得られないまま、市長は事業を進めるのですか。今からでも縮小、見直しは出来ないのでしょうか。

**答 弁**

**今変更はできません**

アンケートの調査では財源内容の説明が不足、事業費56億円の内、合併特例債、国、県からの補助金があり市の負担等の財源の説明がなされていないので多くの市民が、縮小変更と、答えられたのではないかと私は思います。国の都市計画決定に基づき進行し、議会の議決も頂いて進めていますので今更、縮小変更は出来ません。



勝矢 節義 議員



- ・ 中心市街地活性化計画について
- ・ 各種スポーツ施設の運営について

質問

中心市街地活性化は何を核とするのか

都市機能の拡散と中心市街地の空洞化が現状の今、少しでも元気で活力のある”まち”になってほしいと願う一人です。再生への戦略は何を核として取り組むのですか。計画は自前でつくり、行政が主導すべきではないでしょうか。

答 弁

核は市駅前開発

核は市駅前開発です。就任早々から手がけてきたもので、歴史は古いです。平成11年策定した計画をベースにコンパクトシティを目指したいと思います。

中本 徳子 議員



- ・ 伊賀地域の医療体制について
- ・ 交通体系について
- ・ 市の財産の維持管理について
- ・ 川上ダム建設について

質問

診療所の維持は

伊賀市霧生地内にあります、「霧生診療所」は現在休診となっています。昭和31年の開設以来50年以上の長期に亘り、矢持地区を中心とした中山間の地域住民の医療及び健康管理と、指導など計り知れない貢献をされた医師が高齢のため退職され、現在は休診となっています。伊賀市の中でも高齢化率が高く、50%に近い状況にあり、交通機関の便数も悪く、一日も早い再開を望むもので、今後の対応についてお尋ねします。

答 弁

名賀医師会に依頼をしています

後任につきましては、名賀医師会に依頼しており、再開に向けての努力をしています。

市政のここが聞きたい!



英 成樹 議員



- ・ 各種事業の進め方はどうだったのか
- ・ 行財政改革と基金管理について

質問

事業施策の一貫性は

庁舎建築に関し、庁内の検討委員会で大学の先生方に市内を見てもらって調査されたと聞いています。意思形成過程でどのように検討されてきたのか、中心市街地活性化事業との施策の一貫性をどのように図ろうとしていたのかお聞きします。

答 弁

中活法に沿った考えで進めています

伊賀市が誕生する頃には、県民局を廃止するという流れになってきていました。そこで県民局を払い下げていただき、庁舎にするという議論もありました。しかし合併いたしました。現在も、将来も県民局を存続させると確認しています。伊賀市になってからの検討委員会では、その話は無くなっています。中心市街地活性化法の観点から、庁内の検討委員会でも中活法に沿った方向で進めています。

※中活法…中心市街地活性化法

前田 孝也 議員



- ・ 遊休農地対策の強化
- ・ 南北線の道路の拡充

質問

伊賀市の遊休農地の現状把握と対策

伊賀市の農用地に占める遊休農地の割合は5.41%で、農業従事者の減少や高齢化、農産価格の低迷等に起因して、遊休農地が増加傾向にあります。農用地崩壊へ移行している状況から、活力ある農業振興を取戻す対応策をどのように考えているのですか。解消施策の一端を尋ねます。

答 弁

バイオマス事業等の推進

土地改良事業の推進、農地保有合理化事業、中山間地の直接支払い制度、元気な地域づくり交付金事業、遊休農地を活用した菜の花プロジェクト等も遊休農地対策の大きな要素として取り組んでいます。



みんなの議会を目指して!

議会の会議は、どなたでも傍聴していただけます。  
12月定例会は午前10時からケーブルテレビでも生中継しています。  
(再放送は午後7時から)

日 程 (予定) ※変更する場合があります。

12月 2日 本会議 (開会)  
8日 本会議 (一般質問)  
9日 本会議 (一般質問)  
10日 本会議 (一般質問)  
11日 本会議 (一般質問)

議会を傍聴してみませんか

12日 予算特別委員会  
15日 予算特別委員会  
16日 各常任委員会  
17日 各常任委員会  
24日 本会議 (閉会)



# 常任委員会

## 教育民生常任委員会

審議案件 14件  
請願 4件

### 議案第128号

#### 「伊賀市住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定について」

財団法人地方自治情報センターが公募しておりました「ICカード標準システムを活用した住民基本台帳カードの広域での多目的利用促進事業」の実施団体として、伊賀市・名張市広域行政事務組合が応募し、選定されたことに伴い、伊賀市本庁舎と近鉄名張駅に自動交付機を各1台ずつ設置し、伊賀市、名張市の両市民がどちらでも、住民票の写しと印鑑証明書の交付を受けられるようにしようとするものです。従来から希望する市民の皆さんに住民基本台帳カードを交付しておりますが、本事業の推進により、住民基本台帳カードの多目的利用を実施・促進し、市民サービスの向上を図るため、本条例を制定するとのことです。

△委員からは、手数料の減額、住基カード交付枚数の増加見込み、複合的サービスの導入や緊急時の対策について質疑がなされました。

▼当局からは、手数料の減額は考えていないが将来は検討するとの事で、住基カードの作成料はとらない。また、平成23年度末には人口の1割をめざして広報活動をする、との回答でした。

△また、休日の駐車場対策についても質疑がなされました。

▼4月1日以降無料化の対象にしていきたい、との答弁がなされました。

△手数料の減額についてはもう一度検討していただきたい旨の要望をしました。

審査の結果、本案は「全会一致」で可決すべきものと決しました。

## 産業経済常任委員会

審議案件 1件

### 議案第140号

#### 「青山ハーモニー・フォレストの設置及び管理に関する条例の一部改正について」

青山ハーモニー・フォレストは、都市と農村の交流を目的とし、平成15年度から整備を進めている施設です。今回、平成19年度に整備をしたパークゴルフ場が完成したので、所要の改正を行うとのことです。

改正の内容は、施設にパークゴルフ場を加え、使用料を定めるもので、使用料は1ラウンド18ホールで大人1人500円、子供300円とのことです。

△委員からは、施設の利用促進を図るために議会としても利用促進に努力しなければならないが、行政としてどのような手立てが考えられるか、という質疑がありました。

▼公認コースでもあるので、時期を見て、行政と議会等で競技会を持つなど、宣伝広報の機会を作りたいとの回答でした。

△また、貸し出し道具はあるのかとの質疑がありました。

▼貸す道具は規約で定めることにしていて、貸し出し料金はクラブとボールをワンセットとして、100円を予定。またクラブは100本用意しています。とのことでした。

審査の結果、本案は「全会一致」で可決すべきものと決しました。

9月2日の本会議で委員会に付託された議案について4つの常任委員会で審査をおこないました。委員会で審査された内容を要約して一部紹介します。

## 総務常任委員会

継続案件 1件  
審議案件 7件  
請願 2件

### 継続審査 議案第93号「財産の無償貸付について」

県が進めている企業の森事業を導入し、自然環境の保全を図ることを目的に市の山林を無償貸付することについて継続審議となっていました。貸付予定地（比土字三谷4525）の現地調査を行い、再度審査を行ったところであります。

△委員からは、今日まで守ってきた市有山林の整備に係る企業の森制度の導入については賛成するが、周辺の環境整備はどのように考えているのかとの質疑がありました。

▼当局からは、山林に入るまでの間、市道と私道と民有地があり、市道については青山支所で管理をし、企業としては会社のイメージアップ、社会貢献、環境貢献、社員の家族の福利厚生などを通して森林に対する理解を深め、その間計画にそって事業に取組んでいくとの回答でした。

△また、委員からは特にその周辺は、不法投棄、産業廃棄物等の埋立地もあり、カラス等も飛び、周りの環境に良いとはいえない、十分に管理ができるのかとの質疑がありました。

▼市長からは、当然市の財産であることから青山支所で監督をしていくとのことでした。

審査の結果、本案は「賛成多数」で可決すべきものと決しました。

## 建設水道常任委員会

審議案件 1件  
請願 1件

### 議案第129号

#### 「伊賀市ふるさと風景づくり条例の制定」

伊賀市固有の自然、歴史、文化等を生かした、個性豊かな伊賀らしい景観まちづくりを、市民、事業者、市の協働で進め、愛着と誇りの持てる「ふるさと伊賀」の実現に寄与することを目的として、制定するものです。

△委員からは、条例中に「建物や樹木の指定ができる」とあるが、持ち主は拒否できるのか、また、それに対して補助金は出ることになるのか、との質疑がありました。

▼当局からは、指定は、本人の承諾を得てから審議に諮って行うこととなる。補助金は、条例の施行後に規則で規定するが、新しい条例を施行しても、現状の補助金の内容を考慮し、続けたいとの回答がなされました。

△また、近年、市街地で空き地が駐車場になってしまい、既に景観が損なわれているところもあるが、景観の保存に関して何か制限や規制はあるのか、との質疑がありました。

▼新条例の施行後は、敷地の前に塀を建てるなど、直接、見えなくするようにお願いをしていくこととなる、とのことでした。

△また、指定文化財と、条例で指定された物件との関係についての質疑がありました。

▼当局からは、景観法では文化財保護法に定めるものは除くとなっているため、市の指定文化財の場合は、所有者との話し合いになるとのことでした。

審査の結果、本案は「全会一致」で可決すべきものと決しました。

開かれた議会を目指して

伊賀市議会では、議会基本条例第18条により、議案に対する各議員の対応を議会広報で公表し、情報提供に努めています。

## 議案等の審議結果をお知らせします。

7月28日に行われた臨時議会市長提出案件1件、9月定例会での、継続審査となっていた案件1件、市長提出案件50件、議員提出案件6件、請願7件をお知らせします。

付託委員会 (決：決算特別委員会 予：予算特別委員会  
 総：総務常任委員会 教：教育民生常任委員会 産：産業経済常任委員会 建：建設水道常任委員会)  
 審議結果 (可決：可 継続：継 不採択：不)



|            | 議案名                                    | 付託委員会 | 審議結果 | 反対議員名及び退席議員名   |
|------------|--|-------|------|--|
| <b>臨時会</b> |  |       |      |  |
| 103号       | 副市長の選任について                             | /     | 可    | 反・・・森永 欠・・・中岡<br>森永：数ヶ月の任期、市長一人でなんとか頑張してほしい。   |
| <b>定例会</b> |  |       |      |  |
| 93号        | 財産の無償貸付について(継続審査案件)                    | 総     | 可    | 反・・・宮崎<br>宮崎：産廃が放置され必ず計画通りに行くのか。市民の反対も多い。  |
| 104号       | 平成19年度三重県伊賀市一般会計歳入歳出決算の認定について          | 決     | 可    | 反・・・森永<br>森永：川上ダムの推進はやめること。同和事業は速やかに終結すること。市民への増税と後期高齢者医療制度導入をやめること。<br>宮崎：不要額が多すぎるのではないか。 |
| 105号       | 平成19年度三重県伊賀市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について  | 決     | 可    | 反・・・森永<br>森永：高い国保税を引き下げること。資格証明書、短期保険証の発行はやめるべき。   |
| 106号       | 平成19年度三重県伊賀市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について    | 決     | 可    | 全  |
| 107号       | 平成19年度三重県伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定について | 決     | 可    | 全  |
| 108号       | 平成19年度三重県伊賀市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について     | 決     | 可    | 全  |
| 109号       | 平成19年度三重県伊賀市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について      | 決     | 可    | 全  |
| 110号       | 平成19年度三重県伊賀市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について    | 決     | 可    | 反・・・森永<br>森永：介護サービスの後退。報酬の改悪で介護の仕事に誇りが持てない。保険料、利用料の独自の減免制度を実施すること。                         |
| 111号       | 平成19年度三重県伊賀市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について  | 決     | 可    | 全  |
| 112号       | 平成19年度三重県伊賀市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について   | 決     | 可    | 全  |
| 113号       | 平成19年度三重県伊賀市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について     | 決     | 可    | 全  |
| 114号       | 平成19年度三重県伊賀市サービスエリア特別会計歳入歳出決算の認定について   | 決     | 可    | 全  |
| 115号       | 平成19年度三重県伊賀市市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について  | 決     | 可    | 反・・・今井(由)、坂井、宮崎<br>宮崎：4、5階に福祉施設を置くことは、当初から反対。  |
| 116号       | 平成19年度三重県伊賀市島ヶ原財産区特別会計歳入歳出決算の認定について    | 決     | 可    | 全  |
| 117号       | 平成19年度三重県伊賀市大山田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について    | 決     | 継    | 全  |
| 118号       | 平成19年度三重県伊賀市病院事業会計決算の認定について            | 決     | 可    | 全  |
| 119号       | 平成19年度三重県伊賀市水道事業会計決算の認定について            | 決     | 可    | 全  |
| 121号       | 平成20年度三重県伊賀市一般会計補正予算(第1号)              | 予     | 可    | 全  |
| 121号       | 平成20年度三重県伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)      | 予     | 可    | 全  |
| 122号       | 平成20年度三重県伊賀市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)        | 予     | 可    | 全  |
| 123号       | 平成20年度三重県伊賀市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)      | 予     | 可    | 全  |
| 124号       | 平成20年度三重県伊賀市サービスエリア特別会計補正予算(第1号)       | 予     | 可    | 全  |
| 125号       | 平成20年度三重県伊賀市市街地再開発事業特別会計補正予算(第1号)      | 予     | 可    | 反・・・渡久山、今井(由)、宮崎、本村、葛原<br>本村：時期尚早。<br>宮崎：20年度の解体でアスベストの問題は。                                |



# 伊賀市議会だより 2008.11.1

|        |   |   |   |   |          |
|--------|---|---|---|---|----------|
| 126号   | 平成20年度三重県伊賀市病院事業会計補正予算(第1号)   | 予 | 可 |   | 全        |
| 127号   | 平成20年度三重県伊賀市水道事業会計補正予算(第1号)   | 予 | 可 |   | 全        |
| 128号   | 伊賀市住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定について  | 教 | 可 | 反・・・小丸  |          |
| 129号   | 伊賀市ふるさと風景づくり条例の制定について   | 建 | 可 |   | 全        |
| 130号   | 伊賀市議会政務調査費の交付に関する条例   | 総 | 可 |   | 全        |
| 131号   | 伊賀市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例及び伊賀市特別職報酬等審議会条例の一部改正について                          | 総 | 可 |   | 全        |
| 132号   | 伊賀市駐車場条例の一部改正について   | 総 | 可 |   | 全        |
| 133号   | 島ヶ原ふれあいの里の設置及び管理に関する条例の一部改正について   | 総 | 可 |   | 全        |
| 134号   | 伊賀市介護保険条例の一部改正について  | 教 | 可 | 反・・・小丸  |          |
| 135号   | 伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部改正について  | 教 | 可 | 反・・・小丸  |          |
| 136号   | 地区コミュニティ施設設置条例の一部改正について   | 教 | 可 | 反・・・小丸  |          |
| 137号   | 伊賀市地区市民センター条例の一部改正について  | 教 | 可 | 反・・・小丸  |          |
| 138号   | 伊賀市認可地縁団体印鑑条例の一部改正について  | 教 | 可 | 反・・・小丸  |          |
| 139号   | 伊賀市手数料条例の一部改正について   | 教 | 可 | 反・・・小丸  |          |
| 140号   | 青山ハーモニー・フォレストの設置及び管理に関する条例の一部改正について                                       | 産 | 可 |   | 全        |
| 141号   | 伊賀市体育施設条例の一部改正について  | 教 | 可 | 反・・・小丸  |          |
| 142号   | 伊賀市B&G海洋センターの管理及び運営に関する条例の一部改正について  | 教 | 可 | 反・・・小丸  |          |
| 143号   | 伊賀市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について   | 教 | 可 | 反・・・小丸  |          |
| 144号   | 島ヶ原教育振興センターの設置及び管理に関する条例の廃止について   | 教 | 可 | 反・・・小丸  |          |
| 145号   | 伊賀南部環境衛生組合規約の変更に関する協議について   | 教 | 可 | 反・・・小丸  |          |
| 146号   | 伊賀市土地開発公社定款の一部変更について  | 総 | 可 |   | 全        |
| 147号   | ごみ燃料化施設 脱臭装置活性炭の買入れについて   | 教 | 可 | 反・・・小丸  |          |
| 148号   | 訴訟の提起について   | 総 | 可 |   | 全        |
| 149号   | 指定管理者の指定について(継続審査をすることについて)   | 教 | 継 | 反・・・坂井、宮崎、小丸<br>坂井：「きらめき工房について」保護者との理解が本当に得られているのか。ます市が基本的な方針を示し市が行うべきで、指定管理にすることに反対。 |          |
| 150号   | 公益法人等への職員の派遣等に関する条例及び伊賀市職員定数条例の一部改正について                                   | 総 | 可 |   | 全        |
| 151号   | 人権擁護委員候補者の推薦について  | ／ | 可 |   | 全        |
| 152号   | 人権擁護委員候補者の推薦について  | ／ | 可 |   | 全 退・・・中岡 |
| 請願第32号 | 「義務教育費国庫負担制度の存続と、負担率2分の1への復元」を求めることについて                                   | 教 | 可 |   | 全        |
| 請願第33号 | 「30人学級を柱にした義務教育諸学校および高等学校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充」を求めることについて                    | 教 | 可 |   | 全        |
| 請願第34号 | 「『学校安全法』(仮称)の制定をはじめとする総合的な学校の安全対策」を求めることについて                              | 教 | 可 |   | 全        |
| 請願第35号 | 都市計画道路の推進を求めることについて(継続審査をすることについて)  | 建 | 継 |   | 全        |
| 請願第36号 | 行財政改革の一環として無駄を無くすため市長選挙と市議会議員選挙の同時選挙を実施するよう市議会の対応を求めることについて(不採択をすることについて) | 総 | 不 | 反・・・桃井、本村、葛原<br>葛原：今後の経過をみれば、同日選挙にすべきだと思う。  |          |
| 請願第37号 | 「保育制度改革」の見直しを求める意見書の提出を求めることについて  | 教 | 可 |   | 全        |
| 請願第38号 | 自主的な共済制度を新保険業法の適用除外とする意見書を国に提出を求めることについて                                  | 総 | 可 |   | 全        |
| 発議7号   | 伊賀市議会会議規則の一部改正について  | ／ | 可 |   | 全 退・・・中岡 |
| 発議8号   | 「義務教育費国庫負担制度の存続と、負担率2分の1への復元」を求める意見書(案)の提出について                            | ／ | 可 |   | 全        |
| 発議9号   | 「30人学級を柱にした義務教育諸学校および高等学校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充を求める意見書(案)」の提出について             | ／ | 可 |   | 全        |
| 発議10号  | 「『学校安全法』(仮称)の制定をはじめとする総合的な学校の安全対策」を求める意見書(案)の提出について                       | ／ | 可 |   | 全        |
| 発議11号  | 「『保育制度改革』の見直し」を求める意見書(案)の提出について   | ／ | 可 |   | 全        |
| 発議12号  | 「自主的な共済制度を新保険業法の適用除外とする意見書(案)」の提出について                                     | ／ | 可 |   | 全        |

## 議会のうごき

### 7月

29日 伊賀市名張市広域行政事務組合議会  
(全員協議会・本会議)

### 8月

4日～6日 総務常任委員会先進地視察  
12日 三重県自治体交流連絡会打合  
20～22日 建設水道常任委員会先進地視察  
21日 政策討論会幹事会  
25日 議会運営委員会  
会派代表者会議  
26日 三重県自治体交流連絡会  
27日 自治体連合会・行政・議会三者懇談会  
28～30日 教育民生常任委員会先進地視察  
産業経済常任委員会先進地視察

### 9月

2日 本会議(開会)  
議会運営委員会  
議会報告会班長会議  
3日 議会運営委員会  
8～11日 一般質問  
10日 出前講座(教育民生常任委員会)  
12日 決算特別委員会  
16日 決算特別委員会  
17日 予算特別委員会  
本会議  
18日 総務・産業経済常任委員会  
19日 建設水道・教育民生常任委員会  
22日 庁舎建設問題特別委員会  
25日 本会議(閉会)  
29～30日 議会運営委員会先進地視察

### 10月

9日 広報委員会  
15日 広報委員会  
28日 伊賀市・名張市連絡協議会議員研修会

### —広報委員の紹介—

委員長 森本 颯  
副委員長 渡久山カナエ  
委員 田山 宏弥  
森永 勝二  
森野 廣榮



## 庁舎建設問題特別委員会

9月22日に開催された庁舎建設問題特別委員会の報告をします。

委員会では、伊賀市庁舎建設検討委員会での審議状況と新庁舎に係る建設場所及び建物の2点を議題として審議しました。

公募委員、学識経験者ほか、自治会、商工、農業関係、福祉関係等の代表13名で構成されている伊賀市庁舎建設検討委員会は、8月19日第1回目の委員会が開かれ、現在の庁舎の一部利活用の可能性、バリアフリーを含めた一部改修に係る経費、及び庁舎への出入口と市民の流れについてなど、現在の庁舎の現状と課題、問題点など検討していくとのことですが、今後、議会とのすり合わせの場を設けていただきたいとの要望を出したところです。

また、委員から観光拠点との関係、防災上の拠点の位置づけなど当局に質疑をし、庁舎の位置の問題も含め検討していきたいとし、いずれにしても改築又は新築の必要があるとのことで、財政上から優遇措置のある平成26年度までに、合併特例債を活用することが望ましいとの答弁でした。

新庁舎に係る建設場所及び建物について、平成21年3月議会までには、特別委員会として一定の方向を示す必要があるとして、今後も議論を続けていきます。



### ●議会だよりに関するご意見をお寄せ下さい●



TEL 0595 (22) 9687  
FAX 0595 (24) 7901

## 編集後記



この議会だよりは、議会の動きを市民の皆さまに分かりやすく忠実にお知らせすることを目的として、議会での審議や、議決の状況、議員の一般質問を中心に編集いたしました。

伊賀市議会におきましては、二元代表制のもと、議会のあるべき姿を求め、市民の皆さまの幅広いご意見、ご提言をいただき、昨年2月に全国の市で初めて「議会基本条例」を制定いたしました。この条例に基づき、「開かれた議会・市民の皆さまとの情報共有」を実現すべく、住民自治協議会や自治会単位の38地区で議会報告会を実施し、又出前講座を行っております。情報の共有、市民の皆さまの生の声を拝聴することで、議会活動に大いに活用させていただいております。

議会だよりの本来の目的を果たすべく、議会の真の姿が映るよう今後も頑張ってお集して参ります。皆さまの暖かいお声をお待ちいたしてお